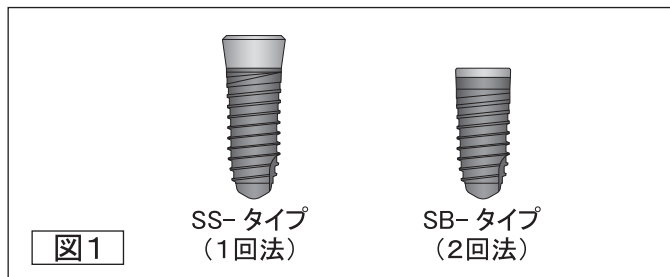


Alphatite Implant • Technical information

1 回法インプラントと2回法インプラントについて

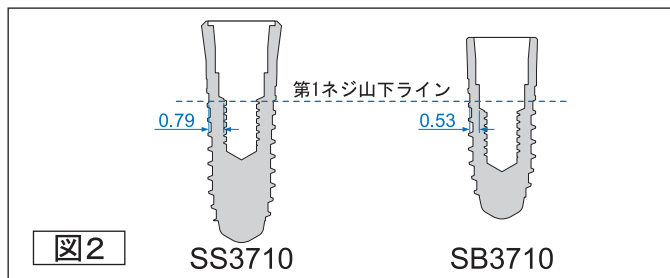
アルファタイトには1回法と2回法のインプラントがあります。1回法インプラントはセミサブマージド (semi-submerged) を略して SS-type、2回法はサブマージド (submerged) を略して SB-type と呼んでいます。(図1)



各々の詳細はインフォメーションカタログの13～17ページに記載しておりますので、ご使用方法や寸法等をご確認ください。なお、本紙ではその使い分けに関して、考察致します。

1回法インプラントと2回法インプラントの違いは、植立直後、歯肉縁上に頭部を露出させるか、露出させないかということです。一般的には静置を必要とする場合には2回法インプラント、あまり必要でない場合には手術が1回ですむ1回法インプラントを選択される事が多いようです。

ただし、設計した側の意図は少々異なります。下記に SS3710 (1回法 ϕ 3.7mm、骨埋入部 10mm) と SB3710 (2回法 ϕ 3.7、骨埋入部 10mm) の断面図を示しました。(図2)



結論を先に述べますと、 ϕ 3.5mm 以下の細いインプラントのインターナル嵌合に限ったことですが、より大きな負担を想定した場合、また長期の咬合を考えた場合は1回法が有利となります。主な理由は右記の3つです。

<理由1> SSタイプの形態の優位性

SSタイプのインプラントは歯肉貫通部がシャンファー直径まで移行的に広がっています。その徐々に広がる太い部分にアバットメント嵌合部分が位置しますので、肉厚が厚くなります。(図3-①) これは同じサイズの嵌合形態を持つインプラントとアバットメントの組み合わせであれば、2回法よりも1回法の方が強度的に有利ということです。(図2)

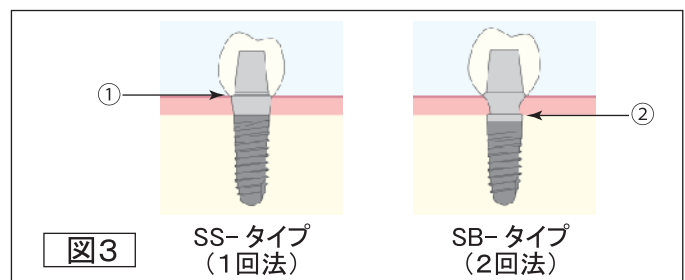
<理由2> アバットメント接合部位置

アバットメントを取り付け、最終補綴物がセットされたことを考えた時、アバットメント接合部が上にあればあるほど、万一のトラブルに対して対処し易くなります。また接合部でのトラブルを想定した(ネジの緩みや破折)場合、接合部が支点となりますので、歯冠部(アバットメント+補綴物)に対して、歯根部(フィクスチャー骨埋入部)の割合が大きい方が有利です。(図3)

<理由3> インプラント嵌合部の肉厚

インプラントは、長期の咬合機能後、骨吸収が起きた場合、脱落や破折が生じる可能性があります。その際の破折はフィクスチャーの第1ネジ山下のネジ谷部から生じる場合が多いようです。(図2)

下記の図3をご覧頂くとご理解頂けるように、歯肉貫通部の存在により、嵌合部が全体的に上にある場合(図3の①と②の位置)、その部分の肉厚は厚くなります。(図2)



以上のような考え方からアルファタイトインプラントの細いフィクスチャーでは肉厚を考え、嵌合部を決定しました。是非、上記のような考え方をご理解頂いたうえで、症例の設計を行って頂きたいと思っております。

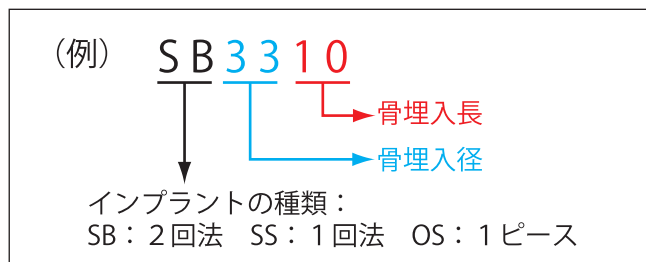
Alphatite Implant・Products introduction(1)

2009年4月時点で、アルファタイトインプラントは発売から1年が経過いたしました。その間、カタログに掲載していない製品を何点か取りそろえておりますので、ここでご紹介いたします。もちろん、申請の範囲内のものですので、ご注文及び弊社からの出荷が可能です。ただし、下記の内容をご理解のうえ、ご使用頂きますよう、お願いいたします。

<カタログに掲載のないフィクスチャーについて>

以下にご案内いたします製品は、カタログに掲載している製品とは異なり、通常在庫していない場合がございますので、製品の出荷までに若干のお時間を頂く場合がございます。予めご了承ください。

また、下記の製品の製品名については、右図をご参照ください。



製品名	嵌合タイプ	非骨埋入部長さ (mm) *1	特徴および注意点
SB3310 SB3312	SB1	0.7	直径 3.3mm の2回法インプラントです。強度を考え、上顎前歯部及び下顎前歯部での適用を想定しています。詳細は裏面の<理由1~3>をご参照ください。
SB4310 SB4312	SB2	0.7	何名かの先生方のご要望にお応えしてできたインプラントです。αリーマー 38(上顎)、αドリル 41(下顎) がファイナルドリルとなります。
SB5008 SB5010 SB5012	SB3	0.7	現時点ではSB46インプラントのバックアップインプラントです。αドリルに径 5.0mm のフィクスチャーのファイナルである直径 4.5mm(上顎)、4.8mm(下顎)のご用意がございませんので、ファーストチョイスされる場合は、そのサイズのドリルをお持ちの先生にのみ出荷しております。
SS3308 SS3708	SS1	2.2	カタログに記載しているSS33、SS37インプラントの骨埋入長さ8mmのものです。
SS5008 SS5010 SS5012	SS2	2.0	現時点ではSS46インプラントのバックアップインプラントです。ドリルに関してはSB50と同様です。このインプラントは主に上顎ソケットリフト用として選択されています。
OS3012	—	10.0	直径 3.0mm の1ピースインプラントです。

*1 非骨埋入部長さとは、2回法であればフィクスチャー非プラスト部の長さ(骨内に位置する)
1回法であれば歯肉貫通部の長さ、1ピースであれば支台部長さに歯肉貫通部長さを加えたものです。

